

項目	K-1 甲子園(高校生) K-1 カレッジ(大学生)			
	トーナメント		ワンマッチ	
階級	50-55kg 55-60kg 60-65kg ※年度により変更の可能性あり		男子階級 -70kg +70kg 女子階級(甲子園)	
試合時間	2分 ※決勝戦のみ2分3ラウンド		2分2ラウンド ※インターバル30秒	
延長戦	1分		-	
出場資格	高校生(15歳以上18歳以下) 大学生・専門学校生(プロ戦績10戦以内)			
参加費	15,000円			
防具	ヘッドギア	フェイスガード (ノーマル) 各自用意 (K-1ロゴ入り)	ヘッドギア	フェイスガード (ノーマル) 各自用意 (K-1ロゴ入り)
	スネパッド	各自用意 (K-1ロゴ入り) ※準々決勝・準決勝・決勝はなし	スネパッド	各自用意 (K-1ロゴ入り)
	ヒザパッド	各自用意 (K-1ロゴ入り) ※準々決勝・準決勝・決勝はなし	ヒザパッド	各自用意 (K-1ロゴ入り)
	胴当て	なし	胴当て	なし
	グローブ	12oz 各自用意 (K-1ロゴ入り)	グローブ	12oz 各自用意 (K-1ロゴ入り)
	<p>(1)K-1実行委員会指定のヘッドギア(K-1ロゴ入り)・グローブ(K-1ロゴ入り)・スネパッド(K-1ロゴ入り)・ヒザパッド(K-1ロゴ入り)・コスチューム・バンテージ・ファールカップ・マウスピースは各自用意とする※ただし、K-1キッズ(小学生)Bクラス・Cクラスはバンテージ・マウスピースは任意となります※ファールカップは紐タイプの金属製のみとする(プラスチック製やサポータータイプは不可となり、試合出場できません)</p> <p>(2)K-1ジュニア(中学生)・K-1チャレンジ女子(一般)・K-1マスターズ女子(40歳以上)はアプメントガードを着用とする</p> <p>(3)試合用トランクスはポケットのあるものは使用できません</p> <p>(4)太腿を覆う以上の長さのスパッツは使用できません</p> <p>(5)試合用のTシャツ・ラッシュガードの長袖は使用できません(半袖のみ)※タンクトップは可能</p> <p>(6)K-1チャレンジ(一般)Aクラスは、K-1実行委員会指定のスネパッド(K-1ロゴ入り)を各自用意する</p>			
勝敗	■勝敗はKO勝ち、TKO勝ち、判定勝ち、引き分け、失格によって決定する			
	KO勝ち	<p>(1)ダウンをして9カウント以内にファイティングポーズを取らなかった場合</p> <p>(2)2回のノックダウンがあった場合※スタンディングダウンを含む</p> <p>(3)「K-1チャレンジCクラス」・「K-1マスターズCクラス」・「K-1ジュニアCクラス」は7ポイント先取、「K-1キッズB・Cクラス」共に蹴り技がノーガード状態の上段にクリーンヒットした場合のみ「技あり」とし、技あり2回でKO勝ちとする(但し、押しつけただけ、触っただけ、かすっただけの蹴りは無効)</p> <p>(4)反則箇所を除く部分へ、突き・蹴りの有効技を瞬間的に決め、相手選手がダウンした場合、または、膝についてダメージがあるとみなした場合</p>		
	TKO勝ち	<p>(1)選手が一方的に優勢の時、試合続行不可能とレフリーが判断した場合</p> <p>(2)選手が負傷や出血し、試合続行不可能とレフリーまたは、リングドクターが判断した場合</p> <p>(3)セコンドがタオルを投入した場合</p>		
	判定勝ち	<p>(1)KOやTKOで勝敗が決まらず、試合終了後にジャッジ3名の内2票以上を獲得した選手の勝ちとなる</p> <p>(2)延長戦は延長戦のみの試合内容でマスト判定(どちらかに優劣を付ける)とし、勝敗を決する</p> <p>(3)各Cクラスは獲得ポイントの多い選手の勝ちとする</p>		
<p>(1)判定でもジャッジの2票以上の獲得がない場合</p> <p>(2)両者が同時にダウンし、両者とも10秒以内に立ち上がらない場合</p>				
注意・減点	<p>(1)反則行為を行った時レフリーは、「注意」を与え、続いて「警告」、次に「減点」(イエローカード)とし、減点2点で「失格」(レッドカード)とする</p> <p>(2)悪質な反則行為を行った時、即、「減点」や「失格」となる場合もある※偶発的な金的攻撃でダウンし、インターバル後に、試合不可能な選手はTKO負けとなる</p> <p>(3)呼び出しても試合場に現れない場合は失格、遅れた場合は減点1からのスタートになる場合がある</p> <p>(4)服装・防具不備は、減点1からのスタートになる場合がある※試合用トランクスは、ポケットのあるものは使用できません</p>			
有効技	パンチでの攻撃 ストレート、フック、アッパー、ボディブロー、バックブロー※キッズB・Cクラスの顔面に対する攻撃は除く ※バックブロー等の回転系の技は、K-1キッズ以外の「全クラス」・「全階級」で有効とする			
	ヒザ蹴りを含む、キックでの攻撃 前蹴り、廻し蹴り、横蹴り、内股への蹴り、飛び蹴り、かかと落とし、後ろ回し蹴り ※後ろ回し蹴り(バックスピニング)、胴廻し回転蹴り等の回転系の技は、「全クラス」・「全階級」で有効とする			
反則技	<p>(1)クリンチ、相手選手に抱きつく、密着する行為(首相撲を含む) (2)相手の手足を掴む行為 (3)肘打ち (4)頭突き(バッティング) (5)オーブンブロー (6)故意による金的攻撃(ローブロー)</p> <p>(7)投げ技(タックルやサバ(折り)を含む) (8)関節技 (9)噛み付き、目潰し (サミング)</p> <p>(10)倒れた相手に対する攻撃、背後からの攻撃</p> <p>(11)「ブレイク」・「ストップ」後、レフリーが試合続行を命じる前の攻撃 (12)ロープを掴んでの攻撃</p> <p>(13)セコンドのスポーツマンシップに反する応援や相手選手に対する中傷や侮辱する言動</p> <p>(14)顔面・頭部へのヒザ蹴り(Aクラス・甲子園・カレッジのみ有効) (15)相手の首に両手、および片手を引っ掛ける行為</p>			